

# 鈴鹿市の戦争遺跡を保存・平和利用する市民の会会報

2010年5月28日

臨時号

## NTT跡地利用臨時号

### NTT本社とのパイプできる

～担当課長と初の面談 格納庫「活用者現れば残すことも可能」～

共同代表の加藤二三子、竹内宏行、今年度から会の世話人になった中森成行(前鈴鹿市考古博物館長)の3人は25日午後、大阪のNTT西日本本社を訪ね、研修センターの跡地利用を所管する財務部不動産企画室の不動産企画担当とビジネス担当の2人の課長と初めて面談しました。

今月はじめ、メールで面会をお願いしたところ、間もなくして応諾の返事があり、この日の面談となりました。なかなか会ってもらえないのではないかと、思っていましたから、心からお礼を述べました。話し合いの最後の方で、「みなさんの活動は知っていたし、いずれ会わねばならない方たちだと思っていた」と言ってくださり、今後も直接、連絡を取り合うことを許してもらえました。

会の3人は自己紹介を兼ねて、なぜ鈴鹿市の戦争遺跡保存に取り組んでいるのか、建築物の形で当時のまま残されている格納庫が戦争遺跡としていかに貴重なものか、こもごも訴えました。

NTT側から①UR(独立行政法人都市再生機構)に委託しての基盤整備は当初から鈴鹿市を含めた3者で協議しており、今年度中にNTTもURと契約を結ぶ②URが転換計画のゾーニングに添って、道路、公園、区画整理、上下水などのインフラ整備をする③基本設計、実施設計は鈴鹿市の指導を受けてやっていく④完成は市の防災公園同様、平成27年3月の予定、といった説明がありました。

その中で、格納庫については、「これまで活用してくれる事業者を探してきたが、現れなかった。いまのところは撤去せざるをえないが、今後、検討期間内に活用してくれる事業者が現れ、折衝し合意できれば、残すことも可能だ」といった注目すべき発言がありました。

話し合いは終始、好意的にフランクに進められました。「いま、格納庫の建築物としての特色、耐震診断、耐震補強について調査してくれる建築学者を探しており、見つければ、格納庫の内部を見せてほしい」とお願いしたところ、「原則は非公開。依頼があった時点で検討する」との回答がありました。

## 中川副大臣が格納庫を視察

中川正春文部科学副大臣が15日、格納庫の視察に来てくれました。旭が丘小学校側から3棟の正面を、次は鈴鹿高専側から側面を見ました。「もっとおんぼろかと思ったが、現役のような丈夫さですね」と感想を述べ、鈴鹿市、鈴鹿市民のアイデンティティーであることをあらためて確認していました。

## 鈴鹿商工会議所と鈴鹿高専を訪問

5月11日、鈴鹿商工会議所の大泉源之会頭と明石孝利常務理事に面会し、格納庫の保存と有効利用について支援をお願いしました。会議所側は、「車のまちの平和ミュージアム」など夢のある開発ができれば、などと話していました。また、5月20日、鈴鹿高専の高橋誠記校長に面会し、わが会の取り組みや思いを伝えました。同校は格納庫のちょうど隣に立地していることもあって、関心を寄せてくれました。

# 格納庫問題で初の議員間討議と現地視察 (鈴鹿市議会)

鈴鹿市議会は5月14日、全員協議会を開き、NTT跡地利用・格納庫保存に絞って議員間討議をしました。議員間討議は昨年6月、議会改革の一つとして設けられた「制度」で、その初の試みにこのテーマが選ばれました。世話人の一人として傍聴した中森成行・前鈴鹿市考古博物館長は「文化についてこんな形で集中討議してもらうなんて感激です」と話していました。

この場で、現地見学することが決まり、20日、19人の議員が参加して格納庫と防災公園予定地を視察しました。市議の方々には、ゴールデンウィーク明けから会派ごとに私たちの思いを聞いてもらう場をつくっていただきました。

## 6月3日からNTT跡地利用議会 ぜひ傍聴を!

鈴鹿市議会6月定例会は6月3日開会します。会期は24日まで。この議会に①防災公園整備事業の債務負担行為の補正予算、②都市公園設置の区域の決定、③独立行政法人・都市再生機構(UＲ)が直接施行することへの同意、のNTT跡地利用関連3議案が提出されます。

3日の本会議(提案理由の説明)、16日の本会議(議案質疑)、17日の建設水道委員会、24日の本会議(賛否の討論と議決)〈いずれも午前10時開会〉が注目されます。傍聴していただけたらと思います。



2010年5月15日 (中日新聞)

### 鈴鹿市の戦争遺跡を保存・平和利用する市民の会

代表 加藤二三子、竹内宏行

〒510-0254 鈴鹿市寺家1-2-47

電話 059-388-6508

メール ta818hi@mecha.ne.jp

HP <http://www006.upp.so-net.ne.jp/asao/peacesuzuka.htm>



2010年5月21日 (中日新聞)